

①防災集団移転促進事業

②集団移転促進協議会整備事業

③JR仙石線移設調整事業

質問 →回答

- 災害公営住宅に入る移転者の受け入れ側の立場として、すでに朝夕の渋滞が発生している地区の道路整備がどのように進むのか、子どもたちが増えた場合に、信号機を設置していくのかどうか、といった情報が聞こえてこないのが気になる。小学校の児童も増えていくと思うが、そればいつどれくらい増えていくのかわからない。そのため、地域の学区再編の議論も進まない。
- 移転事業とは別の事業として、周辺の道路整備を行う地区もある。特に、子どもたちの通学路となる道については、学校に至るルートを検討し、狭隘部分は広げる等の対策は取っている。信号機については、警察との協議を進めている。こういった状況をもっと情報発信していきたい。
- 寝場所だけ作ってもだめで、その地域の将来の明るいビジョン・夢が必要ということではないか。企業誘致等も検討できないか。
- 観光や企業誘致については、移転先だけではなく、元地利用で対応できる部分もある。

- これまでの推移、WSと意見交換の違いは。
- WS:テーマに沿って議論、意見交換:自由な意見を吸い上げる。意見交換については仮設住宅に足を運び女性や高齢者にも意見を求めた。
- 参加していない人には情報は分からないのでは。
- 各組織には情報を提供しているが、なかなか行き届かない現状。市HPで公開。市報等を使い情報発信を強化したい。
- 1人世帯、老人の方の比率が多いと思うが、全体の何パーセントか。
- 役員会部会で話題となっている。見守り等、独居老人世帯のみのグループは作らないような配慮。
- まちづくり通信は、いろいろな試みがあって感心した。参加人数は多いのか。
- 参加人数は市想定より多いと思う。矢本東の10月30日家づくり勉強会に100名弱参加。
- 来られなかった人には資料を配布する等している。およそ週に1回は何かしらの部会が開催されている。トータル100回以上。

- 小野駅・鹿妻駅は同じ場所なのか？
- JRの内規では大丈夫(そのまま)とのこと。
- 前の野蒜駅舎の活用は？
- 物販施設を検討している。
- かつての駅をそのまま移転するのか？
- JRの安全基準により元の場所での復旧はできないことにより高台へ。エレベータ、駅前広場整備等を整備するほか、観光機能(観光PR、物販等)もあわせて利便性の良い駅を検討中。
- JRへの代行バス等の改善要望はどのくらいの頻度で出しているのか？また、どのような方法があるのか。
- 市民からの話があった時など。市民がJRへ直接意見も可能。
- H27年10月より開業が遅延するのか？
- H27年度中には開業、とのこと。用地買収を市で行うなど、早期開業に向けて取り組んでいる。
- 新駅は、景勝地としての法的規制がかかるのか。
- かかる。文化庁からの景観制限、海岸の緑を残すなど。

感想 ・ 現状認識

- 室浜の移転事業では、各住戸の区割りまで確定。
- 宮戸地区は各団地の宅地数が少ないこともあり、スムーズに進んでいる。自宅を再建される方には100坪、公営住宅には60坪の敷地を割り当てる形で進んでいる。
- 集団移転の最初の説明の中で、土地面積の制約から、室浜地区では28軒前後の団地が限界との説明があったため、当初61戸あった室浜地区住民の域外流出を誘発してしまった。
- 他の被災市町村と比べると、東松島市の集団移転事業は、うまくいっている方だと思う。

- 交流のイベントや災害住宅入居者等会う機会をこれからも続けてほしい(牛網)。

- 新型車両の導入も検討されているとのこと期待している。
- 東北本線への乗り入れにより快速が10分程度短縮予定とのこと期待している。仙台から石巻までの時間が短縮すれば、人、モノ、文化の流れが変わる。
- 数十年先に良い駅と言われるといい。

課題 ・ 改善要望

- 良い住環境をつくるために、決めるべきことが非常に多い。これまで、移転元のコミュニティを維持するために団地のエリア分けを行ったり、宅地位置決めや抽選方法等について決めてきた。今は、街並みのルールづくりを進めている。
- ハード事業が終了した後、移転地区へのケアをどうしていくか。観光振興等明るい未来が開けるようなビジョンがないといい街にならない。
- 災害公営住宅の受け入れにあたって、地区の住民に詳しい情報が伝わっていない。丁寧に説明していくことが必要。また将来その地に暮らしていく若い世代の意見反映も必要。
- 最初は、被災時の集落毎に移転していくのかと思っていたが、その後移転先が市内であれば、自由に選べる制度になったため、元のコミュニティが崩れていった地区もある。
- 野蒜北部団地は大規模であるため、最終的な完成時期が遅い。そのため、移転希望者が減ってきている。最新の意向調査では114世帯減少となった。今後、さらに工期が遅れるようなことになると、地域として難しいことにもなる。
- 全体的に見て、市はよくやっていると思う。宮戸では、漁業集落再生の事業も入っているの、移転先と元地の議論が両方進んでいる。この両者と一体のものとして考えていくことが必要。

- 団地視察:松島基地、航空機の離発着場所(野蒜)となる。勉強会等あればその部分も説明しなければならない。
- 騒音の一種区域:音が出るということをきちんと説明が必要。→情報収集し説明していきたい。庁内で地区担当もっている。担当部署とつめて情報を出していきたい。
- 牛網地区:平岡、浜市で2/3、あとは災害公営。これらもっとソフト面をつめていく上で、協力して進めなければと思う。
- せつかく新しい団地の仲間になるから、集まる機会を増やしたい。
- 牛網は団地分け等なくフリーでの区画決め等された。コミュニティ形成等で上手くいくと思う。
- 自分の住みたいところに移転できるのは良いこと。コミュニティ形成が課題。

- 小野～石巻への本数が少ない。朝の通勤・通学時間に合わない。
- 列車のすれ違い(線路が1本のみ、手信号となるなど)や代行バスへの乗降スペースの関係で小野駅前では止まれないので矢本までとなっている。当初4便→7便になった。今も要望はしている。
- 2つの駅とも国道から離れているので、駅近くに駐車場が必要。車と共存も！
- 市でも駐車場を検討中(別事業で)。
- 市には市民の立場で意見してほしい。
- 市民からの要望をまとめる意見箱のようなものを設置してはどうか。
- 要望していく。
- 採算性も重要だが、ただ復旧するのではなく、通勤・通学に限らない活用を期待する(観光等)。東松島市以外の人も使う(広域性)、長期にわたり使うという視点が大切。